

平成21年度 荒川区立尾久第六小学校 学力向上マニフェスト

本年度の指導の重点	努力目標 成果目標
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>調べ、考え、伝え合う学習に取り組む子の育成</p> </div>	<p>調べ、考え、伝え合う力を伸ばすため、「学習のめあて・課題 - 見通し - 調べ・考え - まとめ - 発表」などの学習プロセスを授業に取り入れ、児童が主体的な学習に取り組めるようにします。</p> <p>ワークショップ型学習やイメージマップ・コンセプトマップ等学習スキルを取り入れた学習活動を指導します。意識に関する調査「学習スキル」で、平成20年度80.9% 85%以上を目指します。</p> <p>子どもたちが自主的な学習に活用できる学年別の学習の手引き（ファイル）を2学期末までに作成します。</p> <p>学び合う態度を育てるため、学習の成果を集約した発表やプレゼンテーションを取り入れます。成果発表を2学期の学校公開週間に行います。</p> <p>児童の主体的な学習に生かすため、図書資料を整備します。また、区立図書館の貸し出しや学校図書館指導員のブックトークなどの取り組みを進めます。平成21年度1000冊以上の増冊を目指します。また、学級文庫をつくり、日常的に本と接しやすい環境作りをすすめます。</p> <p>小学生新聞や一般紙の記事に注目させ、社会の出来事に対する関心とどうすればよいか考えるなど社会参画力を高めます。意識に関する調査「最近の社会のできごとをよく知っている」で、平成20年度3年以上66～92% 21年度どの学年も75%以上目指します。</p> <p>また、図書ボランティアの協力を得て、調べ学習用に新聞の切り抜きカードを作り、調べ学習に活用できるようにします。</p> <p>3年以上で算数の習熟度別授業を年間通して実施します。今年度も1・2年の算数大好きIT授業を実施します。4月より実施。ティーチングアシスタントや学生ボランティアによる学習サポートを実施します。5月から実施。</p> <p>「学校に行くのが楽しい」学級・学校づくりを進めます。意識に関する調査「通学意欲」で、平成20年度77.2～89.8% どの学年も90%以上を目指します。</p> <p>そのため、担任がクラスの児童と個人面談を行い、ふれあう時間を作ります。</p> <p>今年度、月行事予定に放課後の学級指導の時間を計画します。</p> <p>基礎学力の定着のため、単元ごとのテストやドリルなど100点取れるよう指導します。間違いは、直して100点を取れるようにし、学習を定着させます。</p> <p>学期末に、習ったことを関連づけて思い出して学習を定着できるよう、振り返り学習を行います。定着のための指導資料を購入整備します。</p> <p>全漢字の読みを1学期にできるようにします。2年以上、100%を目指します。校内テストの実施をもとに状況把握し、その後の対応を進めます。</p> <p>国語辞書を手元に置き、意味調べなど日常的に活用できるようにします。4年以上、100%を目指します。</p> <p>読書活動の習慣化のため、朝読書、朝の読み聞かせ、毎日本の貸し出し、毎学期の読書週間の設定をします。</p> <p>年間を通じて読書活動に取り組みます。低学年は100冊、高学年は50冊を目標にします。達成した児童に校長賞・読書メダルを授与します。平成20年度80% 21年度90%以上目指します。</p> <p>引き続き、銀賞・金賞の読書賞に取り組むよう指導します。</p>

	<p>区小論文コンクールに全員が取り組み、書く力を伸ばします。図書ボランティアの協力を得て、たくさんの本に親しめるよう、年間を通じて話題性のある図書室の環境作りを行います。6月現在、40名以上の図書ボランティアの方が参加しています。図書のバーコード化を行い、貸し出しをやすくするとともに、児童の貸し出し傾向の分析をふまえ、本に親しむ取り組みを進めます。夏休み中に完了。</p>
<p>授業力の向上と 学習環境の整備</p>	<p>学習課題に進んで取り組む児童を育てるため、授業に集中して取り組むようにします。意識に関する調査「授業を受ける姿勢」で、平成20年度1年から6年77.2～87.2% どの学年も90%以上を目指します。子どもたちの学習の習得状況を把握し、その子に応じた個別指導を進めます。</p> <p>年間指導計画、週案にもとづき計画的な授業を毎日実施します。大学教授を招いて13回の研究全体会で講演会と授業研究を行い、授業力の向上に努めます。また、教員の意欲を高めるワークショップ型研修を進めます。11月16日に荒川区教育委員会授業力向上プロジェクト指定校の研究発表会を行います。先進研究視察の成果を全教員で共有し、授業改善を進めます。平成21年度は教員5名を派遣します。年3回の学校公開週間時に学習などについての保護者・学校評議員評価をもとに、評価をふまえて継続的な指導改善に努めます。結果については、HPで公表いたします。また、区全体で行う、児童・保護者・学校評議員からの学校関係者評価をもとに、学校教育全般の改善に努めます。2学期末に実施し、結果をHPに公表します。</p> <p>配信コンテンツ・電子黒板・電子情報ボード・TV会議・自作ソフトなどICT活用の学習教具教材を整えます。教材を、授業、土曜スクール、宿題、サマースクールで活用します。実物投影機・プロジェクターを全学年・専科に配備し、リアリティのある授業を進めます。また、特別活動などで子どものプレゼンテーションに活用し、発表力を育てます。</p>
<p>家庭と連携した学習モデルや学習習慣の定着</p>	<p>学習習慣の定着のために、全児童が家庭での学習に取り組みます。意識に関する調査「自宅学習習慣」で、平成20年度1～6年87%～95% どの学年も95%以上を目指します。</p> <p>テレビ・ビデオは1日1時間以内を目標に、子どもの自覚を促し、保護者と取り組みます。平成21年度6割以上(校内アンケートで)あらかわ土曜スクールやサマースクールに、6割以上の児童が参加するよう児童への声かけ、保護者への働きかけを進めます。新たに日本語検定(一部6月20日実施、全体11月7日実施)に取り組みます。</p>
<p>ニーズに応じた教育支援の充実</p>	<p>保護者との教育相談をふまえ、個別のチーム支援シートを作成し、ニーズに応じた教育支援を進めます。</p> <p>心理相談員による保護者・児童の教育相談、特別支援教育支援員・補助員による学習や生活の教育支援を進めます。</p> <p>担任による学級児童全員との個人面談を5月末までに実施し、一人一人の学習や生活状況をふまえ、心が通い合う個別指導に生かします。</p>